偽牧師（1923）

THE PILGRIM

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
初公開日 不明

【解説】

「キッド」から「巴里の女性」と中篇から長篇に移行期にあったチャップリンの、単純にして奥深い喜劇の名品。

お尋ね者のポスターに１０００ドルの懸賞のかかったチャーリーの写真。彼は脱獄囚なのだ。次に、水浴びから上がった紳士。キョロキョロ、自分の服を探すが、見つけたのはチャーリーの脱ぎ捨てた囚人服。場面変って、彼が牧師姿で現われる駅のホーム。駆け落ちのカップルがやって来て、彼に離婚を取り持ってもらおうとしてひと悶着あった後、テキサスへ逃げる彼。券売窓口の鉄格子につかまって牢獄を思い出しては震える臆病者。列車で隣り合わせた男が保安官だったので飛び出すと、そこは新任の牧師を待ち受ける小さな町。その当人と間違われ、チャーリーは早速教会へ連れていかれる。長老席の面々が陪審員に見える哀しい性、聖書を渡されても思わず宣誓してしまう始末。さて、その町には獄中で一緒だった悪漢ハワードが落ちのびていた。一方、Ｅ・パーヴィアンスの美しい娘のいる家に下宿することになったチャーリー。例のハワードが、学生時代の友人を偽って訪ねてくる。もちろん、彼の狙いは金。悪漢はタンスの引き出しの中の大金に気づく。これを必死で守ろうとしたチャーリーを殴り倒し金を奪うハワード。気づいてそれを追ったチャーリーは、酒場でホールド・アップに遭う彼からまんまと金を取り戻す。が、チャーリーの手配書はもうこの町に回っていた。保安官は彼を捕らえ、メキシコ国境まで連れてくる。あっちに綺麗な花が咲いているな－－と指し示すのは国境の向こう側、つまり逃げろと言われているのに、正直にそれを摘んで戻るチャーリーがおかしい。が、やっと事態に気づいて、保安官に感謝を述べ、自由の天地の空気を思いきり吸う彼。と、その途端、茂みからガンマンたちが機械仕掛けのように起き上がって撃ち合いを始める。きびすを返そうにも、本国じゃお尋ね者。仕方なしに両国国境線上をまたいで走り去っていくチャーリーを、かつて、弁士・徳川夢声は、彼はついに“アメシコ”に行ったのであります、と名解説をつけたもの。“世界市民”チャーリーの面目躍如たる素晴らしいラストだ。

【クレジット】

監督	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
出演	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
	エドナ・パーヴィアンス	Edna Purviance
	キティ・ブラッドバーン	
	マック・スウェイン	Mack Swain
	ダック・ローヤル	
	ドゥインキー・ディーン	
	メエ・ウエルス	
	シド・チャップリン	Syd Chaplin
	チャック・ライスナー	Chuck Reisner
	トム・マーレイ	Tom Murray

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.